

# KUR 鯉も恋こい

Nursing

# 9

## ～ 54回生 入学式 ～

4月7日



今年は男子学生15名を含め85名の仲間を迎えました。



## 学校長あいさつ



今年の広島は、春からカープ球団の快進撃があり、全国カープ女子の声援とともにヒートアップしました。“今日もカープは、カーチカーチカーチ勝ち”の歌声がどこからともなく毎日聞こえてくるようです。呉看護学校の池に泳ぐ鯉も一年中元気です。呉看護卒業生の皆さんもカープ女子よろしく元気でご活躍のことと思います。五十四回生も戴帽式をおこなう時期となり、看護師となる自覚、理想の看護師を目指す熱意も高まっています。そして、今年の10月1日は、昭和の大戦以降に始まった国立呉病院創設60周年になります。記念誌を発刊し、お祝いします。同窓生の皆さんも病院運営方針のキーワードである**LOVE and SMILES** (和顔愛語) と共にさらにご活躍されますことを祈念しています。

国立病院機構呉医療センター附属呉看護学校 学校長  
呉医療センター・中国がんセンター 院長  
谷山 清己





# 第51回学校祭

平成28年6月25日に学校祭を開催しました

今年の学校祭は、テーマ「The sky is the limit ～無限の可能性～」を掲げ、準備していきました。学校祭当日、天気は雨模様でしたが、約400の方が来場してくださいました。屋台やバザー、お茶会、手浴・足浴、健康診断など普段学習している看護技術を提供させていただきました。来場していただいた方には楽しんでいただき、改めて地域の方々、病院職員のご支援にこたえることができたのではないかと思います。そして、学校祭を無事終えることができたのは、実行委員の活動と、私達を沢山の方々が助けてくださったおかげであると感謝しています。学校祭を企画・運営することは大変でしたが、仲間との絆を強めることができ、学校祭のテーマでもある呉看護学校の学生として様々な可能性がみえました。

健康診断



足湯

～気持ち良くなって頂けたかな?～



恒例! 部屋親、部屋っ子コンテスト



学校祭へようこそー受付



バルーンで飾った玄関

## OPEN SCHOOL

「昼食交流会に参加して」 3年 松本 佑樹

今回のオープンスクールから初めて昼食交流会を実施しました。初めてということで参加者に楽しんでもらえるか不安もありましたが、参加者と在校生が同じテーブルで1時間昼食をとりながら交流を深めていきました。参加者からの質問などに答えながら、楽しくコミュニケーションを取り、呉看護学校について知ってもらおう良い機会となり大盛況で終わることができました。



採血

昼食交流会

3年生 藤原圭祐

私は今回BLS（一次救命処置）のブースを担当させていただきました。私達が2年生の3月頃に8時間かけて受講した内容です。自動車学校等でも習う内容であるため参加者の方々いかに看護学校で学ぶ意義を知っていただくかを考えてプレゼンテーションの内容を決めました。今回使用した機器は技術研修センターからお借りしたもので、技術研修センターは呉医療センターの医師をはじめ医療従事者が利用されています。学生の内からこれらの臨床に通じる教育を受けられるのも呉看護学校の魅力だと思うので、オープンスクールをきっかけに呉看護学校へ入学したいと思っただけなのではないかと思います。



血圧測定

血糖測定

## 宿泊研修

6月9 10日、6月16 17日人間関係論の宿泊研修を行いました。2日間クラスの親睦を深めることができました (^\_^)



## 茶道部

茶道部で教えてくださっている國重先生が、学校茶道指導者としての功績を讃えられ裏千家 宗家より「学校茶道部功労賞」を授与されました。





# スポーツ交流大会

平成28年5月31日（火）に、広島県内の8校の看護学生が集まり、「第67回スポーツ交流大会」が、広島県立総合体育館（広島グリーンアリーナ 大アリーナ）で開催されました。

## 2年生 応援団部 小河優佳

練習中には、踊りをそろえることやできるだけ低い声を出すことを中心に練習し、一人一人が自分の課題に向き合い、メンバー同士でアドバイスし練習しました。本番では、学校長先生をはじめ教員の先生方、全学年の声援を受けて演舞し、練習してきた全ての成果を発揮することができました。演舞し終わった後の感動は言葉や文章では表現できません。練習はとても苦しかったけど、それを乗り越えたからこそ得るものがたくさんありました。これから応援団を引き継ぐ後輩たちには、そこに至るまでの過程や努力を大事にしてもらい、仲間と協力して、切磋琢磨し、学年カラーを活かした、活気あふれる応援団を作ってほしいです。



## 2年生 バレー部 峯畑千春

私たちバレー部は、毎年このスポーツ交流大会で優勝することを目指し練習しています。自分たちの苦手な部分を主に練習し、チームメンバーがお互いに意見を出し合うことでいいプレーにつながるように考え、大会当日を迎えました。試合前、楽しみと不安が入り混じる中、応援団の皆さん、また学生の皆さんや先生方の力強い応援をいただき、円陣を組むことでより一層団結し試合に臨みました。相手に一歩及ばず悔しい結果となりましたが、みんなで練習してきたことが2位という結果につながり、学生同士のきずなが深められたことは、とても良い機会だったと思います。先生方をはじめ、学生全員から大きな声援をいただいたことに感謝し、来年こそは優勝できるよう、来年に向けて練習に励みたいと思います。



# 第9回 呉国際医療フォーラム



## 「K-INTの司会を終えて」 看護学校 2年 梶川 和恵

今年もK-INTで英語の司会を担当させていただきました。医学の専門用語の発音が難しく、当日はとても緊張しました。しかし、発表されている内容から国際的な視点にたった医学の動向を知ることができ、大変刺激になりました。また呉医療センターのドクターの方々、海外からのゲストと意見交換されている姿を間近に拝見し、私たち看護学生の講義は、すごいドクターの方々には講義を担当していただいているのだと実感すると同時に、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

## 「お茶会を開催して」 看護学校 2年 磯本 卓治

茶道部はK-INTに来られたゲストをおもてなしさせて頂くため、お茶席を設けました。まず、お茶席ではお点前をご覧いただきました。ゲストは、お点前を真剣に見つめて、お茶席の静かな雰囲気を感じていらっしゃいました。お茶菓子の食べ方やお茶の飲み方を英語で説明するのは難しかったですが、とてもよい勉強になりました。お点前をご覧いただいた後は恒例の記念撮影です。女性ゲストは浴衣を着ていらっしゃるのとお茶席にとっても映えていらっしゃいました。お土産として今年は「折鶴」をプレゼントさせて頂きました。



～宮島～

## 「特別講演を聴講して」 看護学校 1年 曾根田 美緑

今回、初めてK-INTの特別講演を聞かせていただきました。私は1年生なので、学校の講義で学習していない内容が多く、なかなか理解するのが難しかったです。しかし、事前に頂いた講演の資料からタイの医療や看護の状況について知ることができました。また、子どもの緩和ケアについての発表もありましたが、日本と同じように子供の“癒しの空間”などを設けておられ、環境が充実していることが分かりました。

このような講演に参加し、海外の医療、看護に触れることができ、大変貴重な体験となりました。

## 「ゲストを宮島に案内して」 看護学校 2年 長合 智華

私はK-INTに来られた外国のゲストの方々、宮島を案内させていただきました。今回は、ゲスト数名と学生でグループをつくり、ゲストと学生と一緒に宮島を観光できるようにしました。初めは英語に不安があり積極的にコミュニケーションがとれませんでした。ゲストの方からゆっくり話しかけていただき、徐々にジェスチャーも交えながらコミュニケーションが取れるようになりました。この経験を今後活かしたいと思います。



# 「皆さん、お元気ですか？」



5 A病棟 看護師

## 高筒 瞳

5 A病棟は整形外科、形成外科、歯科口腔外科の混合病棟です。手術をしリハビリをされる患者の回復に向けた援助や、化学療法中の看護、乳房再建、リンパ管吻合など実習ではあまり

見ることの出来ない疾患、内科の入院もあるので幅広い疾患の看護を学ぶことができます。しっかり指導して下さる先輩や医師に恵まれ、試行錯誤しながら看護しています。明るい雰囲気病棟で毎日楽しく頑張ることができますよ。一緒に働きませんか。



4 A病棟 看護師

## 福田 裕美

呉医療センターの産婦人科・乳腺外科病棟で、働き始め半年が経ちました。この病棟では新生児期、成人期、老年期と対象の幅が広く、命の始まりから終わりまで多くの看護を学ぶこと

ができます。また、女性の大きなライフイベントである出産や育児、疾患による乳房や生殖器官の切除・摘出といった、女性を対象とした看護をすることも特徴です。1年目でまだまだわからないことも多く、悩んだりすることもあります先輩方に多くのことを教えていただき、また支えられて日々学び、楽しく働いています。ぜひ一緒に働きましょう！



6 B病棟 看護師

## 結田 美里

消化器内科の6 B病棟では、検査後の急性期の患者さんから、終末期のがん患者さんまで幅広く関わることができます。働き始めは業務を覚えることに一生懸命でしたが、看護師4年目

になり、患者さんにとってより良い看護とは何かを、チーム全体で考えながら関わっていくことにやりがいを感じています。検査も多く忙しい病棟ですが、お互いに声を掛け、協力し合いながら日々看護を行っています。また、雰囲気も良いため楽しく働くことができます。



8 A病棟 看護師

## 清時 久弥子

8 A病棟は脳神経外科、神経内科、耳鼻咽喉科と首から上の内科から外科までたくさんのことが学べる病棟です。くも膜下出血や脳梗塞の急性期や耳鼻咽喉科の領域における化学療法・

放射線療法を受ける患者さんの慢性期などいろんな場面の患者さんと関わることができます。様々な面で患者さんの変化が見受けられた時には本当に嬉しく、やりがいを感じることができます。また、わからないことは先輩や医師が教えてくれ、自己の成長も期待できる病棟だと思います。是非一緒に働きましょう！！

## 編集後記

卒業生の皆さん、お元気ですか？

皆さんは、忙しく過ごされているとは思いますが、「Kure 鯉 恋 こい」を開いて、学生時代を思い出し、少しでも”ホッコリ”して頂けたら嬉しいです。

私達も4月から54回生を迎えて皆で協力しながら日々頑張っています。

編集長：天野 志保

編集委員：1年生：藤賀 裕敏、赤澤 瑠依、曾根田 美緑、原田 玲奈

2年生：渡部 楓、宇都宮 裕紀、山本 亀紗恵、小河 優佳

3年生：藤原 圭祐、藤川 梓、佃 由紀子



独立行政法人国立病院機構

呉医療センター附属呉看護学校

〒737-0023 広島県呉市青山町3-1 TEL.(0823)22-5599/FAX.(0823)22-5646

URL <http://www.kure-nh.go.jp> E-mail [kuregaku@sc.kure-nh.go.jp](mailto:kuregaku@sc.kure-nh.go.jp)